



# 大分市感染症発生動向情報

(2022年45週 11月7日～11月13日)



今週の動向について

(大分市保健所)

## 感染性胃腸炎にご注意ください

ウイルス性の感染性胃腸炎は、一年を通し発生しておりノロウイルスやロタウイルスなどが原因で起こる疾患です。

- 〈症状〉 原因となるウイルスなどによって異なりますが、主に嘔吐や下痢、腹痛、発熱などがみられます。
- 〈経路〉 多くの場合、汚染された水や食品による経口感染や、感染者の嘔吐物や便に触れた手を介して感染します。
- 〈予防〉 特に調理前・食事前や排便後の手洗いを十分に行い、タオルの共用は避けましょう。
- 〈処理〉 嘔吐物や便などを処理する際はマスクや手袋を着用し、ペーパータオル等で嘔吐物や便を拭き取り、ビニール袋などに入れしっかり封をして廃棄してください。その後、嘔吐物・便のあった場所と汚れた衣服・物品を消毒液：水500ml+ペットボトルキャップ2杯の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒してください。

年齢区分	1 インフルエンザ			2 RSウイルス感染症	3 咽頭結膜熱 (プール熱)	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 感染性胃腸炎	6 水痘(水ぼうそう)	7 手足口病	8 伝染性紅斑 (リンゴ病)	9 突発性発疹	10 ヘルパンギーナ	11 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	12 マイコプラズマ肺炎
	A型	B型	不明											
0歳							0.91		0.18		0.18	0.09		
1～3歳				0.18	0.55	0.73	4.45		0.64		0.64	0.64		
4～6歳					0.09	0.09	1.82		0.09			0.09		
7～9歳						0.27	1.09							
10～14歳							0.45							
15～19歳							0.09							
20歳以上														
計(今週)	0.00			0.18	0.64	1.09	8.82	0.00	0.91	0.00	0.82	0.82	0.00	0.00
70歳以上 (再掲)														
前週	0.00			0.09	0.27	0.64	8.64	0.09	0.73	0.00	0.73	0.91	0.09	0.00

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点当たりに概算して計上(定点医療機関数 インフルエンザ17 小児科11)

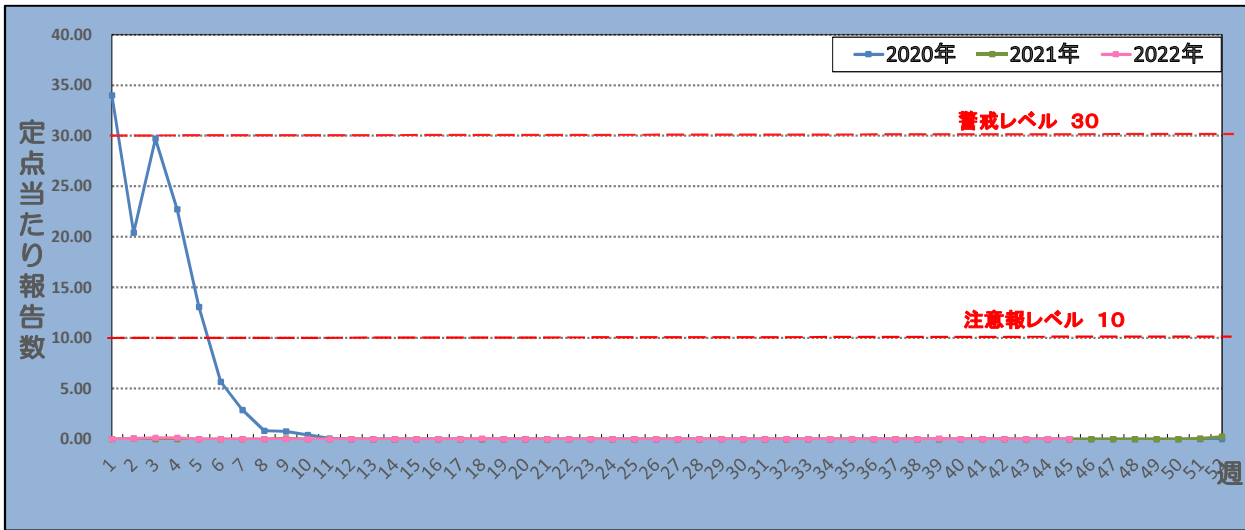
★2008年1月1日より、麻しん及び風しんはすべての医療機関から報告のある全数報告に変わりました。

★2018年1月1日より、百日咳はすべての医療機関から報告のある全数報告に変わりました。

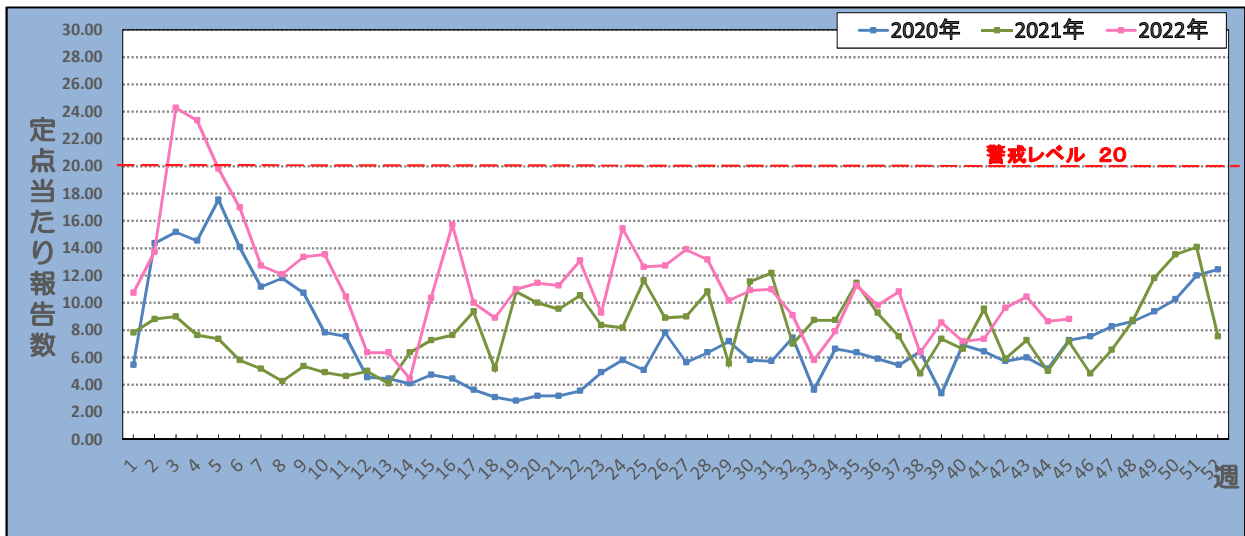
全数報告 (市内医療機関分)	年代	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25歳以上
	麻しん	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0

# 週別・疾病別患者数(グラフ)

## 定点当たり報告数 インフルエンザ（3年間）



## 定点当たり報告数 感染性胃腸炎（3年間）



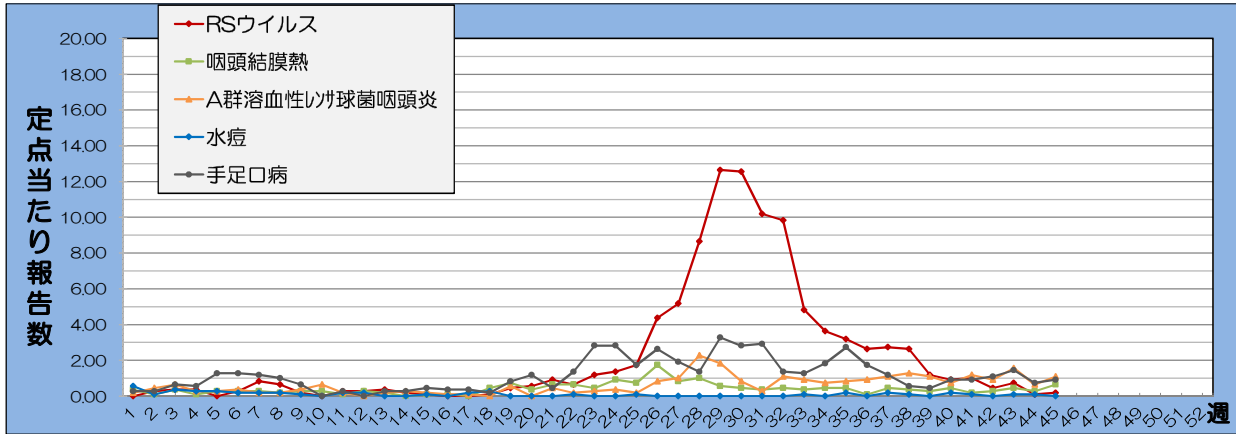
### 警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
感染性胃腸炎	20	12	

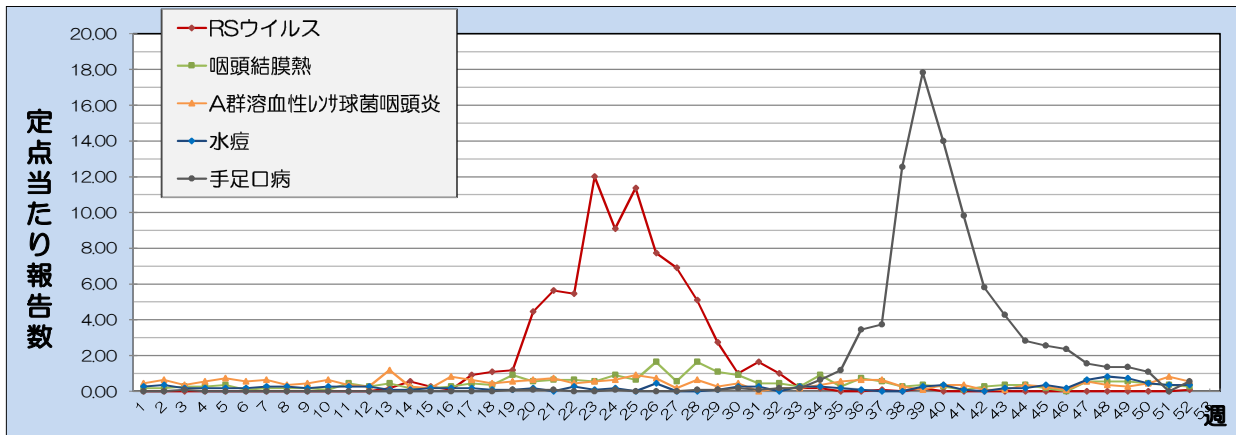
- ・ 警報レベル・・・大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。
- ・ 注意報レベル・・・流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。

# 週別・疾病別患者数(グラフ)

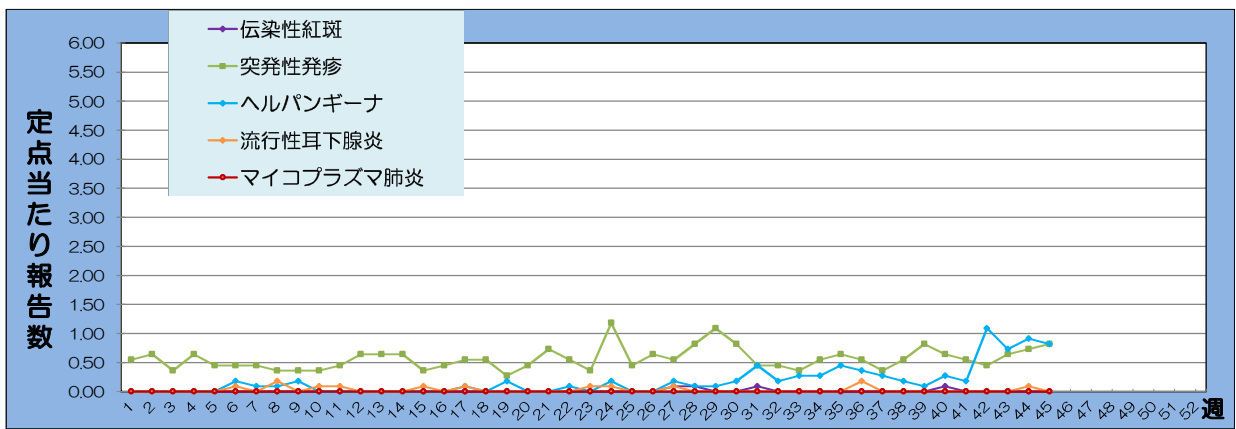
2022



2021



2022



2021

